

作品記入欄(線の内側に書いてください)

母への想い

ミナコレ参加館（スタンプラリー対象外を除く）を全部まわりました。
 その中で、紅花に出会いました。それは母のふるさと山形地方です。
 母は結婚のため上京、間もなく太平洋戦争が始まり、世の中の混乱期をまっし
 ぐら、5人の子を育てました。
 思い返せば私の子供の頃、母から、ふるさとの話は全く聞いたことがありませ
 んでした。
 きっと、その日その日の生活に追われ、ふるさとのことをお話す余裕は、
 瞬時たりとも、なかったのでしょう。
 私の学生時代、紅花の輸送ルートは海運であったことは知っていましたが、
 一部内陸ルートもあったことを今回、初めて知りました。そのルートの通過点
 として、母のふるさと（小さな村）が地図に記されており、何故か心が熱くな
 りました。

お母さん、大変な時期に大変なご苦勞、今更ながらありがとうございました。

どうぞ、ゆっくりお休み下さい。

平成26年 盛夏

絵の場合はタイトル	
作者名(ペンネーム可)	後 藤 信 二